

# 日 本 史

## 注 意

1. 問題は全部で16ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次の文章A～Cを読んで、後の問に答えなさい。1～12は解答用紙(その1)を用いること。

A 8世紀初め、日本では和同開珎が鑄造された。711年には官人に銭貨使用をうながす手段として一定の銭を献納したものに位を与える  を発布するなど、その流通が促進された。その範囲は京と畿内周辺に限られていたが、租税を銭貨で徴収するなど、次第に流通の場を広げていく。長い間和同開珎は日本最初の銭貨だと考えられてきたが、近年飛鳥から富本銭が発見され、銭貨発行が天武天皇の時代にさかのぼることが明らかになっている。縄文時代や弥生時代、古墳時代にいたるまで日本では銭貨を持たなかったが、それが初めて律令国家によって実現した。

問1 空欄  に入る語句を漢字5文字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問2 下線部②に関して、奈良時代の租税について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 田租は口分田が班給される者のうち、成年男子だけに課された。
- ② 調の品目の一つとして、木綿でできた布を納めることが定められた。
- ③ 出挙の制度では、男性・女性の区別なく稲を割りあてられた。
- ④ 労役が課される雑徭は、一定期間京で労働することが義務づけられた。



問 6 皇朝十二銭のうち、村上天皇の天徳年間に発行された銭貨を、次の①～

④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 乾元大宝      ② 万年通宝      ③ 開元通宝      ④ 神功開宝

B 桓武天皇は、  ・平安京の二つの都を造営したが、後者は以後長きにわたって日本の首都としての地位を保った。その中心となった大内裏(宮城)は政治組織の中心となり、朱雀大路を中心軸とする整然とした都市計画が施行された。しかし、10世紀になると右京の荒廃が顕著になり、外国使節を迎えた  が廃絶するなど、当初の平安京の姿は次第に変質した。

問 7 空欄  に入る語句を漢字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 8 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

- ① 松原客院      ② 勸学院      ③ 東寺・西寺      ④ 鴻臚館

問 9 下線部⑤について述べた文Ⅰ、Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。

Ⅰ 平安宮に設けられた大極殿は天皇が出御した殿舎であり、朝政や元日朝賀などの儀式が執りおこなわれた。

Ⅱ 皇后の住まいは平安宮内には設けられず、宮外に所在する貴族の邸宅が使用された。

- ① Ⅰ 正      Ⅱ 正      ② Ⅰ 正      Ⅱ 誤  
③ Ⅰ 誤      Ⅱ 正      ④ Ⅰ 誤      Ⅱ 誤

問10 平安時代の出来事について述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並べたものとして正しい組合せを、下の①～⑥の中から一つ選んでマークしなさい。 8

Ⅰ 応天門の変を描いた「伴大納言絵巻」が制作された。

Ⅱ 藤原道長の娘である彰子が一条天皇の中宮になった。

Ⅲ 為平親王擁立の陰謀があるとして、時の左大臣が大宰府に左遷された。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ

② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ

⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ

⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

C 武家政権によって鎌倉幕府が開かれると、幕府は將軍を中心として運営され、行政制度や裁判制度なども整備された。しかし源頼朝が亡くなると御家人の勢力が台頭し、さらに三代將軍実朝が暗殺されると京都から將軍を迎え、幕府は執権となった北条氏によって主導された。そして、13世紀半ばには執権 お の時期に御成敗式目が制定され、ここにはじめて朝廷の公家法とは別に、新たに武家自身の法体系が成立した。

問11 空欄 お に入る人名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 9

① 義時

② 時宗

③ 泰時

④ 時政

問12 下線部①について述べた文Ⅰ、Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 10

Ⅰ 御家人を組織し統率する侍所が置かれ、その初代の別当として和田義盛が任じられた。

Ⅱ 裁判の書類や事務を担当する公文所が置かれ、その初代別当として京都出身の大江広元が任じられた。

① Ⅰ 正 Ⅱ 正

② Ⅰ 正 Ⅱ 誤

③ Ⅰ 誤 Ⅱ 正

④ Ⅰ 誤 Ⅱ 誤

問13 下線部㉔に関連して述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並べたものとして正しい組合せを、下の①～⑥の中から一つ選んでマークしなさい。 11

Ⅰ 御家人ら13人による合議制が始まった。

Ⅱ 将軍である源頼家が修禅寺で謀殺された。

Ⅲ 比企能員が北条氏によって討たれた。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ

② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ

⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ

⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問14 下線部㉕について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。 12

① 朝廷の公家法についてはその存続を認め、武家法が干渉しないことを基本方針とした。

② 大番催促などの大犯三箇条の規定が含まれている。

③ 全体は51条の条文で構成された。

④ 鎌倉幕府が滅亡するとともに廃止され、効力を失った。

II 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

飢饉や災害は、政治変革をもたらすことが多い。

寛永の飢饉は寛永19年(1642)に諸国で起きた大飢饉である。このとき幕府は、諸国に対して祭礼仏事、婚礼、衣類などの倹約を布達するとともに、本田畑に煙草を栽培することを禁じた。酒造は半分に制限し、そうめんやうどんなどの商売を禁止している。また、その後の農業政策に大きな影響を与えた。

享保の飢饉は享保17年(1732)畿内以西を襲った大飢饉である。虫害であった。被害については諸説あるが、餓死者は1万2000人に及ぶといわれる。伊予松山藩では12万石の年貢収入があるはずなのに、この年は皆無で、餓死者は約3500人に及んだといわれる。東山、東海、北陸などの諸藩の米を西国に回送するとともに、幕府自身も救援米を送った。この飢饉は翌年豊作だったため、被害は1年ですんでいる。

当時の将軍  は、飢饉対策のために新田開発を推奨したり、物価問題に腐心したため米将軍などといわれた。

江戸では、米を買い占めたとされた江戸日本橋にある高間伝兵衛本店が打ちこわしにあっている。この打ちこわしが江戸時代最初の打ちこわしといわれる。

天明年間には、日本全国で飢饉がおきている。天明2年(1782)には東北、四国、九州で大凶作が起き、翌年には、蝦夷地、東北、関東、九州で大飢饉を招いている。しかも、この年の7月には  が大噴火を起こした。この噴火により2万人ほどが死去し、江戸では火山灰が3cmほど積もった。江戸藩では、天明4年当時の百姓の総数は5万1000人程度であったとされているが、餓死、病死、逃散の人数は3万人に達したという。寛政期に刊行した『東西遊記』にも、道には人骨があり、一軒も残らず死に絶えた里があることや、人肉を食していたことなどといった飢饉の様子が書かれてある。

他方で、この時期、 が藩主であった米沢藩や、 が藩主であった白河藩では飢饉の中、餓死者を出さなかったことが知られる。凶作や米価高騰の結果、一揆や打ちこわしが頻発し、老中田沼意次の失脚を早め、寛政改革を

もたらすこととなった。

天保の飢饉は天保4年(1833)から同7年にかけて全国で見られる飢饉であった。天保初年から天候不順が続き、天保4年の東北地方では大洪水、冷害と続いた。このため、人々は山菜でしのぎ、犬猫まで食する状態であった。大坂では町奉行の無策に憤慨した **オ** が決起している。彼は元々は大坂町奉行の与力であり、<sup>①</sup>陽明学者としても知られる。決起は失敗し自殺するが、この影響は大きく、<sup>②</sup>越後でも平田篤胤の門弟であった **カ** が柏崎にある桑名藩の陣屋を襲撃している。

問1 空欄 **ア** ~ **カ** に入る語句を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を使用すること。

問2 下線部③に関連し、この時期推進された鎖国令に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 **13**

Ⅰ 海外居住5年以上の者の帰国を禁止した。

Ⅱ 日本人の海外渡航を全面的に禁止した。

Ⅲ ポルトガル船の来航を全面的に禁止した。

① Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ

② Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ

③ Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ

④ Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ

⑤ Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ

⑥ Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

問3 下線部④に関連して、近世の酒について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 **14**

X 北陸地方や東北地方で酒造業が盛んとなり、北前船で江戸に運ばれた。

Y 上方から江戸に酒を運ぶため、樽廻船が使われた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤



問 4 下線部㉓に関連し、江戸幕府の農業政策として誤っているものを次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 15

- ① 本百姓の没落を防ぐことを意図した田畑永代売買の禁止令が発せられた。
- ② 作付制限令(田畑勝手作りの禁)を発し、田畑に米や木綿、菜種以外の作物を植えることを禁じた。
- ③ 質流し禁令を発し、質入れ地である田畑が、質流れの形で売買されることを禁じた。
- ④ 分地制限令を発し、耕地の分割相続を制限した。

問 5 下線部㉔に関連して、享保期のできごとについて述べた次の文 a～dのうち、正しいものの組合せを下を選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 16

- a 新田開発政策が推進され甲斐国五郎兵衛新田が開発された。
  - b 参勤交代の在府を短縮する代わりに、大名から米を上納させた。
  - c 大岡忠相らが公事方御定書を編纂した。
  - d 幕府が旗本に命じて定火消が創設された。
- ① a・c            ② a・d            ③ b・c            ④ b・d

問 6 下線部㉕に関連し、近世の年貢について述べた文として正しいものを、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 17

- ① 領主は村から田畑の面積や収量、作人などを報告させ、それに基づき年貢高を算出した。
- ② 村が責任をもって年貢を納入した。
- ③ 一定期間の年貢高を基準とし、税率を一定にして納める検見法がとられた。
- ④ 村内にいた水呑百姓も年貢を納めていた。

問 7 下線部⑥に関連して、江戸の地名 X・Y とそれに該当する語句 a～d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びマークしなさい。

解答用紙(その1)を使用すること。 **18**

- |   |       |       |     |   |       |       |      |
|---|-------|-------|-----|---|-------|-------|------|
| X | 日本橋   | Y     | 神田  |   |       |       |      |
| a | 米市場   | b     | 魚市場 | c | 蔵屋敷   | d     | 青物市場 |
| ① | X - a | Y - c |     | ② | X - a | Y - d |      |
| ③ | X - b | Y - c |     | ④ | X - b | Y - d |      |

問 8 下線部⑧に関連し、近世の蝦夷地について述べた文として誤っているものを、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 **19**

- ① 蝦夷地にはアイヌの人々が住んでいた。
- ② ロシア海軍軍人ゴローウニンが国後島で捕えられ、箱館・松前に監禁された。
- ③ 間宮林蔵が幕命によって樺太を探查した。
- ④ 桂川甫周が蝦夷地の様子を記した北槎聞略を著した。

問 9 下線部⑨に関連し、近世に起きた百姓一揆Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 **20**

- |   |               |   |           |   |           |
|---|---------------|---|-----------|---|-----------|
| Ⅰ | 畿内で初めて国訴が起きた。 |   |           |   |           |
| Ⅱ | 甲斐国で郡内騒動が起きた。 |   |           |   |           |
| Ⅲ | 信濃国で嘉助騒動が起きた。 |   |           |   |           |
| ① | Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ     | ② | Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ | ③ | Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ |
| ④ | Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ     | ⑤ | Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ | ⑥ | Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ |

問10 下線部①に関連して、寛政改革のときに行われた施策X・Yとそれに該当する語句a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 21

X 江戸に流入した没落した農民の帰村を奨励した。

Y この地に無宿者を収容し、職業技術を授けた。

a 人返し令      b 旧里帰農令      c 石川島      d 小石川

① X - a      Y - c                              ② X - a      Y - d

③ X - b      Y - c                              ④ X - b      Y - d

問11 下線部①に関連して、陽明学について述べた文章X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 22

X 王陽明が創始した儒学の一部。野中兼山などが影響を受けた。

Y 知行合一を説く。吉田神道と朱子学を結合したもので、道徳性が強い。

① X 正      Y 正                              ② X 正      Y 誤

③ X 誤      Y 正                              ④ X 誤      Y 誤

問12 下線部①に関連して、平田篤胤のことを述べた文章として正しいものを、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を使用すること。 23

① 現秋田県出身。復古主義、国粹主義を唱えた。

② 現三重県出身。国学を教え、古典研究を進めて復古神道を主張した。

③ 現静岡県出身。『万葉集』『古事記』の研究から古道説を説く。

④ 現福井県出身。小浜藩士として活躍し、晩年は国学に専念した。

**Ⅲ**

次の文章A～Cを読んで、後の問いに答えなさい。

A 1880年代なかばになると工場制工業が広くおこり、賃金労働者が増加した。その大半は繊維産業従事者であり、しかも大部分は女性が占めた。その多くは小作農家などの子女で、家計を補助するために出稼ぎに出て、賃金を実家が前借りするのと引き換えに一定期間の労働に従事した。男性労働者は、鉱山業や運輸業に従事する者が多かった。彼女ら・彼らは工場や作業現場に近接した寄宿舍で生活し、低賃金で長時間労働に従事した。<sup>④</sup>

日清戦争前後になると、こうした「不熟練」労働者のおかれた劣悪な状況が問題視されるようになった。**ア**による『日本の下層社会』などルポルタージュが記されたほか、『職工事情』など政府による実態調査も刊行された。待遇改善や賃金引上げを要求して労働運動も始まった。1897年、高野房太郎や片山潜は**イ**を結成して労働運動の指導に乗り出し、鉄工組合や日本鉄道矯正会などの熟練労働者を中心とする労働組合も生まれた。こうした熟練労働者に率いられ、不熟練労働者らも「暴動」やストライキに参加した。

1900年に制定された治安警察法は労働者の団結権とストライキ権を制限して労働運動を取り締まったが、一方で政府はこの問題に目をつぶったわけではなく労働条件を改善しようとして工場法の制定を目指すようになった。しかし、企業の所有者・経営者らに阻まれて1911年ようやく制定され、就業規制などの実施は1916年にずれ込んだ。

問1 空欄**ア**に入る人名を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問2 空欄**イ**に入る組織名を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 3 下線部㉔に関連して、次の文の中から正しいものを一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。 24

- ① 細井和喜蔵は『女工哀史』において、自身と妻の製糸工場での労働体験を基に、その過酷な状況を記述した。
- ② 山本茂実は、京都地方の製糸工場での就労経験がある元女工たちからの聞き取りをもとに、『ある製糸工女哀史 あゝ野麦峠』を記した。
- ③ 山本作兵衛は、常磐炭田における自身の体験をもとに炭鉱での労働や生活を克明に描いた記録画を残し、その作品はのちにユネスコの世界記憶遺産に登録された。
- ④ 松原岩五郎は『最暗黒の東京』において明治中期東京における都市下層民の生活を明らかにした。

問 4 下線部㉕に関連して、次の文の中から正しいものを一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。 25

- ① 工場法は、最低年齢12歳、12時間労働、女性・年少者の深夜就業禁止などを定めたほか、労働者の団結権を認めていた。
- ② 第二次世界大戦終結以前には団体交渉権のみが法的に保障されていた。
- ③ 第二次世界大戦中には、戦時体制下での労資協調を目指した産業組合が結成された。
- ④ 1945年に公布された労働組合法によって、労働者のストライキ権は初めて法的な保障を得た。

B 第一次世界大戦後、都市化と重工業化が進展した。東京や大阪などの大都市では、会社員・銀行員・公務員などの事務的な仕事に従事する俸給生活者(サラリーマン)が大量に出現した。この新しい階級は ウ と呼ばれた。もともとヨーロッパで生まれた概念で、独立自営の小規模な商工業者および農民などを指し示す middle class から区別して命名されたのである。

東京都心ではサラリーマンが働く場として、丸の内ビルディング(丸ビル)など

鉄筋コンクリートづくりのオフィスビルが出現した。都心部から郊外にのびる鉄道が建設され、その沿線には文化住宅が建てられた。この階級の間では、男性が稼得者で世帯主となり、女性が主婦として家事育児に従事し、子は家計補助のために働くよりも教育を受けることが規範として広く共有された。<sup>④</sup>

この階級を担い手とする大衆文化もひろがった。大正末期には発行部数100万部をこえる新聞が現われ、などの総合雑誌が人気を博すとともに、『サンデー毎日』や『週刊朝日』などの週刊誌、『主婦之友』などの女性雑誌、『経済雑誌ダイヤモンド』『東洋経済新報』なども刊行された。

ただし、大企業と中小企業、都市と農村とのあいだの格差は明白であった。都市では個人消費支出が増加し「大衆消費社会」的状況が萌芽的に現われたが、一方で一般農家や中小企業の労働者の生活水準は低く、<sup>⑤</sup>大企業で働く労働者とのあいだの格差が拡大した。こうした社会構造は「二重構造」と呼ばれた。

問5 空欄に入る言葉を漢字4文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問6 下線部③に関連して、このビルの建設を含む丸の内一帯の市街地開発を担った財閥を次の選択肢のなかから一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

- ① 三井            ② 三菱            ③ 住友            ④ 安田

問7 下線部④に関連して、児童中心主義に立った自由教育運動の実践者およびその人物がかかわった教育機関の組み合わせとして、不適当なものを次の選択肢のなかから一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

- ① 羽仁もと子－自由学園                            ② 沢柳政太郎－成城小学校  
③ 西村伊作－文化学院                              ④ 伊沢修二－東京音楽学校

問 8  に入る語として不適当なものを次の選択肢のなかから一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

- ① 『中央公論』      ② 『解放』      ③ 『改造』      ④ 『労農』

問 9 下線部③に関連して、次の文章の中から誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

- ① 杉山元治郎・賀川豊彦らは1922年に小作人の全国組織組合として日本農民組合を設立し、地主層との闘いの前面に立って小作争議を指導した。
- ② 京都帝国大学教授であった河上肇は第一次世界大戦中に『貧乏物語』を著し貧乏の廃絶を説き、のちにマルクス経済学に傾斜して資本主義経済を批判した。
- ③ プロレタリア文学運動がおこると『種蒔く人』や『戦旗』などの雑誌が創刊され、小林多喜二「太陽のない街」や徳永直「蟹工船」などの作品が掲載された。
- ④ 昭和恐慌期、政府は時局匡救事業と称して公共土木事業を行い、農民らを日雇い労働に雇用するとともに、農山漁村経済更生運動などによって「自力更生」を図らせた。

C 第二次世界大戦後の1950年代半ばから始まった高度経済成長は、植民地市場に依存した戦前とは異なり、国内市場の拡大によって達成されたという特徴を持っていた。重化学工業を中心とした産業の成長が、「」がを呼ぶ」と言われたような波及効果をもたらしたのである。企業は利潤の一部を賃金上昇に回し、労働者はそれを原資に消費者として自らの生活を豊かにすることを目指した。

目指すべき「豊かさ」の具体的な姿を示し、普及させたのはマスメディアであった。大量の情報が伝達され、日本人の生活様式や思い描く理想の生活は次第に画一化され、家電や自家用車などの耐久消費財の購入につながった。このことが、これらの産業のさらなる成長をもたらした。やがて国民の8～9割が自

らを社会の「中層」に位置していると考えerようになった。これを中流意識という。

現実には大企業の正社員と季節労働者あるいは中小企業労働者との間には依然として大きな格差があり「二重構造」は容易には解消されなかった。それでも世代を超えた階級の上昇の可能性が示される限り、人々は階級闘争に身を投じるよりは、<sup>㊦</sup>少しずつ上昇する賃金を子供の教育に投資するほうを選んだ。こうして「教育熱」が高まり、高校・大学への進学率が上昇して高等教育の大衆化が進んだ。

事務管理部門の拡大やサービス産業の成長は、サラリーマンの長時間労働をもたらした。1980年代の「」期には、働きすぎによるが問題となった。また、その後の1990年代になると「」と呼ばれた解雇が公然と行われるようになり、やがて「格差拡大」が指摘されるようになって「一億総中流」は過去のものとなった。

問10 空欄  に入る言葉を漢字で答えなさい。

問11 下線部㊦に関連して、次のなかから1960年時点でもっとも普及率が高かった製品の一つを選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

- |         |         |
|---------|---------|
| ① 白黒テレビ | ② 電気掃除機 |
| ③ 電気洗濯機 | ④ 電気冷蔵庫 |



問12 下線部㉔に関連して、次の文の中から誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。 31

- ① 労働運動においては高度成長期以降、毎年3月頃に各企業の組合が産業別に共同歩調をとってベースアップなどの条件を交渉する「春闘」と呼ばれる方式が定着した。
- ② 労働者は、雇用の安定と引き換えに経営側と協力して生産性向上を図る姿勢をとり、QCサークルなどの小集団活動に参加した。
- ③ 高度成長期に「金の卵」と呼ばれた集団就職者の中心は中学卒業者であったが、1970年には高校進学率が8割を、大学進学率は5割をそれぞれ超えるようになっていた。
- ④ 1968年から翌年にかけて学生運動が高揚し、学生がキャンパスをバリケード封鎖したりそれを機動隊が排除したりするなど、大学の機能が一時的に失われた。

問13 空欄 B C D に入る語の組み合わせとして適当なものを、次の選択肢のなかから一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。 32

- ① B - 安定成長      C - 三無主義      D - 雇い止め
- ② B - バブル経済      C - 三無主義      D - リストラ
- ③ B - 安定成長      C - 過労死      D - 雇い止め
- ④ B - バブル経済      C - 過労死      D - リストラ





